

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:まごころ千曲

実施日:令和5年12月中旬～令和6年1月上旬

調査人数:5名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		現状利用者の特性等を考えると手狭感はあるが、今後事業所内居室3カ所をニーズに合った使い方をしていく
	②	職員の配置数は適切であるか		○		現状の利用者数に対しては適切なことが多いが、目標数に対しては不足している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		完全なバリアフリーではないが、段差をなくす工夫は行っている
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常勤職員でまとまった目標・振り返りをパート職員にも広く下ろし参画できるよう努めている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年1回実施し、改善報告書も出している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて毎年公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在のところ第三者委員の活用は行なっていない。今後実施を検討中
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			個人が受けたいものを選別する、あるいは上司からの勧めで受講する機会を作っている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントと個別支援計画書が連動して作成できていないことが今後の課題
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		場面場面では使用しているが、継続的にならなく使っていない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		・相談してプログラムは考えているが、プロジェクトチームの様な形にはなっていないため今後改善していく
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の成長に必要な活動内容を抽出しながら構成している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個々の児童については課題を抽出しているが、グループや全体に対しての課題は設定できていない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			自立度と必要性を鑑みながら計画に落とし込んでいる

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎回必要事項を確認
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			次回の利用がより充実するよう、情報の共有と改善点の洗い出しを行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録内容については精査しきれておらず、改善の余地はある

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングにより修正・継続を判断している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			基本活動複数を組み合わせている
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管・担当スタッフ等ふさわしい者が参画している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校と事業所との懇談会・個別の支援会議・小中校特別コーディネーターとのやり取りにより連絡調整を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医指示書により情報を得たり、必要時には病院の地域連絡室と連絡を取って体制を整えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			年度末に行われる移行支援会議によって情報共有と相互理解ができている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			年度末の移行支援会議によって情報共有とスムーズな移行に努めている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修の受講及び児童発達支援で利用していた児童がいる場合は助言を受けている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			児童館・児童センターへの移行が考えられる児童の場合には、活動する機会を設けている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			さんさんネット・生活・相談・こどもの各専門部会と事業所連絡会・運営委員会の参加している

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			個別支援計画の説明の機会や、日々の送迎の際に共通理解を図っている
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		一部の方への提案のみに留まっている
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用前のアセスメント及び契約を結ぶ際に説明している
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門性のある必要な助言や支援を行うためのスキルが十分ではないため、スキルアップの必要がある
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者参加の行事の中で交流・連携が図れるよう支援している
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			利用前の契約時に苦情受付窓口など体制について周知している。実際に苦情があった場合にも最大限説明・謝罪の対応を行なっている
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所機関紙を定期発行している
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人の秘密が外に漏れないよう周知徹底している
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			言葉や絵・写真など、伝わりやすいものを用意し意思疎通・情報伝達に努めている
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在のところ、事業所独自の地域のための行事は行なっていない
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			利用前のアセスメント・契約の際に周知している
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練は年2回定期的に行なっている
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回実施

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束の「緊急やむを得ない場合」の3要件に添って身体拘束を行なっている。保護者にも説明・同意を得て計画に記載
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			地域の訪問看護ステーションと連携し医師との連携も構築。食物アレルギーのある児童がいれば対応可能
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ミーティングの際に共有し、同じことが起こらないよう周知徹底している

34

7

2